



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 中外炉工業株式会社
 コード番号 1964 URL <http://www.chugai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 西本 雄二
 (氏名) 南場 賢一郎

TEL 06-6221-1251

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	13,040	5.4	△367	—	△309	—	△329	—
28年3月期第2四半期	12,373	16.8	△468	—	△415	—	△396	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △266百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △671百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△4.23	—
28年3月期第2四半期	△5.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	36,821	18,626	50.4
28年3月期	39,665	19,365	48.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 18,558百万円 28年3月期 19,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	6.00	6.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	3.7	900	32.9	1,000	26.2	800	46.6	10.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	78,000,000 株	28年3月期	78,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	170,674 株	28年3月期	166,471 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	77,832,119 株	28年3月期2Q	77,841,252 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	10
(1) 受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢には改善が見られましたが、円高の進行などにより設備投資の持ち直しに足踏みが見られ、輸出も伸び悩むなど、国内景気は弱含みで推移しました。また、海外では、米国や欧州で緩やかな景気回復基調が続きましたが、中国や東南アジア諸国では減速傾向が継続し、先行きの不透明感が強まりました。

当社グループの関連する市場のうち、鉄鋼業界では中国の供給過剰が継続し市況が弱含みで推移する中、事業基盤の強化に向けた設備投資が続きました。また、自動車業界では北米や中国での生産台数は増加したものの軽自動車の販売不振から国内では減少し、新規設備投資の先送りが見られました。一方、情報・通信分野では、液晶メーカの設備投資に動きが見られたことに加え、注力しているフレキシブルディスプレイ分野での量産投資計画にも具体化の動きが見られました。

このような経営環境のもと、当社グループは業績確保に向けて積極的な受注活動を展開し、海外では中国向け液晶関連精密塗工装置や東南アジア向け連続亜鉛メッキラインなどを、国内では鉄鋼向け省エネ型取鍋予熱装置や自動車部品熱処理設備などの成約を得て、受注高は14,895百万円（前年同期比85.2%）となりました。

売上面につきましては、国内鉄鋼向け省エネ型加熱炉や連続亜鉛メッキライン改造工事、台湾向け省エネ型加熱炉更新工事などを着実に納入し、売上高は13,040百万円（前年同期比105.4%）となりました。

利益面につきましては、売上高が増加したものの、利益計上には至らず、営業損失367百万円（前年同期は営業損失468百万円）、経常損失309百万円（前年同期は経常損失415百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失329百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失396百万円）となりました。

各分野別の概況は次のとおりです。

（エネルギー分野）

受注面では、東南アジア向け連続亜鉛メッキラインやアルミ連続塗装ライン、インド向け加熱炉省エネ化実証事業、中国向けステンレス製造設備などの成約を得て、受注高は11,015百万円（前年同期比78.2%）となりました。

売上面では、国内鉄鋼向け省エネ型加熱炉、鉄鋼向け加熱炉改造工事、連続亜鉛メッキライン改造工事、自動車部品熱処理設備、台湾向け省エネ型加熱炉更新工事などの納入により、売上高は11,005百万円（前年同期比112.4%）となりました。

（情報・通信分野）

受注面では、中国向け液晶関連精密塗工装置や台湾向けタッチパネル関連精密塗工装置などの成約を得て、受注高は2,332百万円（前年同期比211.3%）と大きく増加いたしました。

売上面では、中国向けタッチパネル関連精密塗工装置や液晶関連フィルム製造ライン改造工事などを納入いたしました。短納期案件の受注が少なかったことなどから、売上高は736百万円（前年同期比65.6%）となりました。

（環境保全分野）

受注面では、国内外向け蓄熱式排ガス処理装置などの成約を得ましたが、客先からの発注が下半期に予定されている案件もあり、受注高は704百万円（前年同期比56.1%）に留まりました。

売上面では、国内向け蓄熱式排ガス処理装置のほか、鉄鋼向け加熱装置などを納入し、売上高は729百万円（前年同期比79.4%）となりました。

（その他）

受注面では、海外子会社において、中国向け自転車部品用熱処理設備や中国向けステンレス製造設備用機器などの成約を得て1,628百万円（前年同期比75.1%）となりました。

売上面では、中国向け自動車部品用熱処理設備や中国向け蓄熱式排ガス処理装置などを納入し、売上高は1,433百万円（前年同期比97.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少などにより、前期末比2,844百万円減少の36,821百万円となりました。

負債合計は買掛金の減少などにより、前期末比2,104百万円減少の18,195百万円となりました。

純資産合計は利益剰余金の減少などにより、前期末比739百万円減少の18,626百万円となり、自己資本比率は50.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、政府の経済政策の波及効果が期待されるものの、輸出の伸び悩みに加え、為替相場の変動懸念などから、当面、国内景気は弱さが見られる状態が続くものと予想され、また、中国や東南アジア経済の減速などにより、世界経済の先行きも不透明な状況が続くものと思われま

す。このような状況のもと、当社グループでは、自動車関連や鉄鋼などのエネルギー分野で、自動車の軽量化や省エネ改善、更新などの投資需要を確実に捉え、また、情報・通信分野では、フレキシブルディスプレイ市場への拡販により、受注の上積みを図ってまいります。

以上により、通期の連結業績につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はなく、売上高34,000百万円、営業利益900百万円、経常利益1,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益800百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,714	5,574
受取手形及び売掛金	21,504	19,930
有価証券	209	209
たな卸資産	1,342	1,408
その他	164	188
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	29,926	27,303
固定資産		
有形固定資産	4,771	4,676
無形固定資産	171	143
投資その他の資産		
投資有価証券	4,263	4,196
その他	574	543
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	4,796	4,697
固定資産合計	9,739	9,517
資産合計	39,665	36,821
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	1,566	1,829
買掛金	11,371	7,889
短期借入金	2,800	4,300
引当金	311	242
その他	2,094	1,577
流動負債合計	18,144	15,838
固定負債		
長期借入金	1,188	1,380
退職給付に係る負債	214	187
その他	753	789
固定負債合計	2,155	2,356
負債合計	20,299	18,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,176	6,176
資本剰余金	1,544	1,544
利益剰余金	10,451	9,655
自己株式	△44	△45
株主資本合計	18,128	17,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,144	1,239
繰延ヘッジ損益	17	31
為替換算調整勘定	56	3
退職給付に係る調整累計額	△54	△47
その他の包括利益累計額合計	1,163	1,227
非支配株主持分	73	67
純資産合計	19,365	18,626
負債純資産合計	39,665	36,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	12,373	13,040
売上原価	10,961	11,489
売上総利益	1,411	1,551
販売費及び一般管理費	1,880	1,918
営業損失(△)	△468	△367
営業外収益		
受取配当金	55	54
その他	29	30
営業外収益合計	84	85
営業外費用		
支払利息	18	18
その他	13	7
営業外費用合計	31	26
経常損失(△)	△415	△309
特別利益		
固定資産売却益	24	-
特別利益合計	24	-
特別損失		
会員権評価損	1	-
特別損失合計	1	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△393	△309
法人税等	8	9
四半期純損失(△)	△401	△318
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	10
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△396	△329

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△401	△318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△301	95
繰延ヘッジ損益	7	14
為替換算調整勘定	13	△64
退職給付に係る調整額	11	7
その他の包括利益合計	△269	52
四半期包括利益	△671	△266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△667	△265
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△393	△309
減価償却費	171	165
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
退職給付に係る負債及び退職給付に係る資産の増減額	26	△18
受取利息及び受取配当金	△58	△57
支払利息	18	18
有形固定資産売却損益(△は益)	△24	-
会員権評価損	1	-
売上債権の増減額(△は増加)	245	1,513
たな卸資産の増減額(△は増加)	△646	△157
仕入債務の増減額(△は減少)	443	△3,094
その他	82	△447
小計	△135	△2,387
利息及び配当金の受取額	58	57
利息の支払額	△18	△19
法人税等の支払額	△40	△103
営業活動によるキャッシュ・フロー	△135	△2,452
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	100	200
有形固定資産の取得による支出	△170	△50
有形固定資産の売却による収入	37	-
無形固定資産の取得による支出	△4	△1
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
その他	△29	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69	177
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	1,500
長期借入れによる収入	400	400
長期借入金の返済による支出	△214	△208
配当金の支払額	△389	△467
自己株式の取得による支出	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205	1,224
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	△88
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△394	△1,139
現金及び現金同等物の期首残高	6,392	6,714
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,997	5,574

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

①売上高

(単位：百万円)

部 門	前第2四半期連結累計期間 平成27年4月～平成27年9月		当第2四半期連結累計期間 平成28年4月～平成28年9月		増減
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額
エネルギー	9,788	79.1	11,005	84.4	1,217
情報・通信	1,123	9.1	736	5.6	△387
環境保全	919	7.4	729	5.6	△190
その他	1,467	11.9	1,433	11.0	△34
相殺消去	△925	△7.5	△864	△6.6	61
合 計	12,373	100.0	13,040	100.0	667
(うち、海外)	(2,852)	(23.1)	(2,584)	(19.8)	(△268)

②受注高

(単位：百万円)

部 門	前第2四半期連結累計期間 平成27年4月～平成27年9月		当第2四半期連結累計期間 平成28年4月～平成28年9月		増減
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額
エネルギー	14,092	80.6	11,015	74.0	△3,077
情報・通信	1,103	6.3	2,332	15.7	1,229
環境保全	1,256	7.2	704	4.7	△552
その他	2,169	12.4	1,628	10.9	△541
相殺消去	△1,136	△6.5	△786	△5.3	350
合 計	17,487	100.0	14,895	100.0	△2,592
(うち、海外)	(3,450)	(19.7)	(8,193)	(55.0)	(4,743)

③受注残高

(単位：百万円)

部 門	前第2四半期連結累計期間 平成27年4月～平成27年9月		当第2四半期連結累計期間 平成28年4月～平成28年9月		増減
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額
エネルギー	21,989	85.1	17,648	81.5	△4,341
情報・通信	623	2.4	2,179	10.1	1,556
環境保全	1,771	6.9	618	2.8	△1,153
その他	2,253	8.7	1,445	6.7	△808
相殺消去	△811	△3.1	△227	△1.1	584
合 計	25,826	100.0	21,663	100.0	△4,163
(うち、海外)	(5,620)	(21.8)	(11,130)	(51.4)	(5,510)